

## 基本計画

(平成26年度作成)  
(平成30年度一部改定)

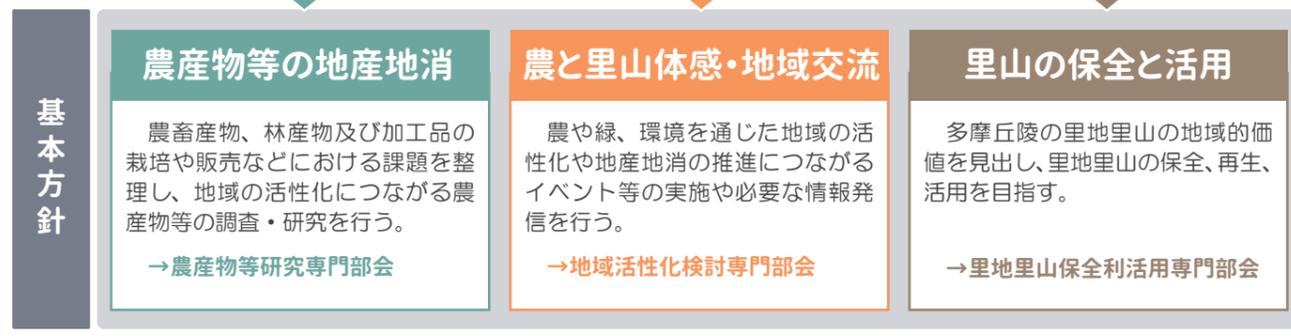
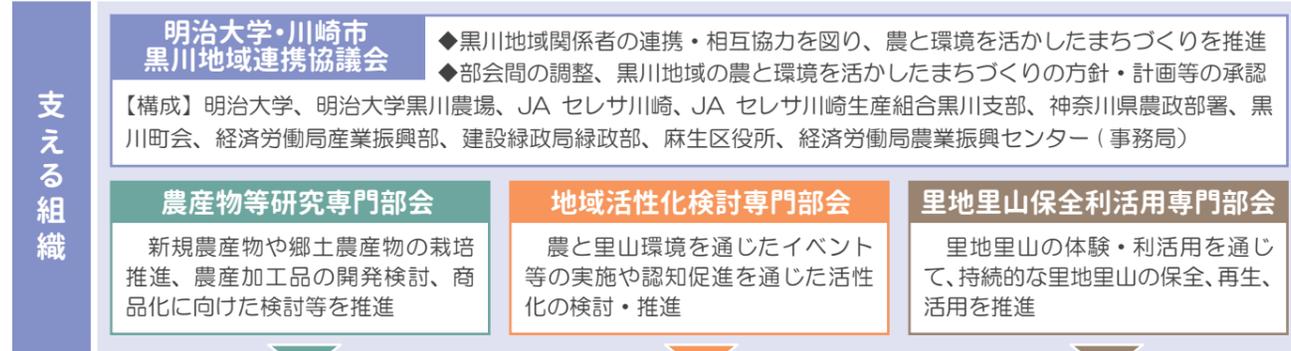
### 1. 農と環境を活かしたまちづくりの目的

川崎市麻生区黒川地域は、豊かな緑と農地が残された里地里山の面影を残す地域です。しかしながら、良好な環境を持続的に維持保全していくためには、農・緑・地域等に関して様々な課題があります。

そのため、本取り組みは、この地域が抱える課題を解決しながら活力ある地域としていくため、農業者・地域住民・大学・行政等が連携し、農と環境を活かしたまちづくりを進めることを目的としています。

### 2. 推進体制と目標、実施方針

多様な担い手からなる「明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会」を中心に、3つの方向性を持った「専門部会（農産物等研究専門部会・地域活性化検討専門部会・里地里山保全利活用専門部会）」を立上げ、各専門部会において様々な取り組みを試行し、検証の上、継続的に実施していく取り組み内容を検討していきます。



## 実施計画

(平成27年度作成)  
(毎年改定)

### 1. 実施計画と平成31年度の取り組み(予定)

基本方針に基づき、平成31年度の取り組みについて、以下の事項を定めています。

基本方針	実施方針	No.	取り組み項目	概要	H31
農産物等の地産地消 農産物等研究専門部会	農産物等の栽培技術、営農環境の向上	農1	大学と連携した意見交換会、講座の開催	目的: 明治大学の先端技術やノウハウを活用した農業活性化。 内容: 大学の研究成果等を共有できるよう、地元農業者が参加できる意見交換会や講座を開催する。	○
		農2	栽培技術の向上に向けた取組の検討・実施	目的: 大学等と連携し、栽培技術の向上を図る。 内容: 農産物の栽培方法等に関する勉強会や研修会等を開催し、黒川における栽培技術の向上を図る。	○
	黒川の農産物の知名度向上とPRの推進	農3	地域イベント等を通じた黒川産農産物の知名度の向上	目的: 地域イベント等を通じ、黒川産農産物の知名度向上を図る。 内容: 黒川の農産物を身近に親しんでもらえるよう、黒川地域で行われるイベント等を通じ、知名度向上を図る。	○
		農4	収穫祭等における黒川産農産物のPR	目的: 販売会を通じて黒川産農産物のファンを増やす。 内容: 明治大学等と連携しながら、黒川産農産物をPRする。	○
農と里山体感・地域交流 地域活性化検討専門部会	黒川の魅力情報の発信	地1	黒川里山の風景のPR	目的: 里山の四季の風景をより多くの人に楽しんでもらう。 内容: 麻生区のホームページやツイッター、また、街中でのポスター掲示等を通じて、魅力ある里山風景を発信する。	○
		地2	協議会の取り組みやイベントのPR	目的: 協議会と、協議会の取り組みをより多くの人に発信する。 内容: 部会連携を強化し、協議会の取り組みや成果を麻生区HP等で紹介。	○
	農と里山を体感するイベントによる地域連携強化	地3	グリーンツーリズムの実施	目的: 黒川の魅力を体感してもらい、再来訪のきっかけをつくる。 内容: 市民を対象に、明治大学や地元農家と連携した収穫体験を開催。	○
		地4	地元主催アートイベントへの協力	目的: 農と里山を体感するイベントを応援し、活動を活性化させる。 内容: 地元主催のアートイベント「緑と道の美術展in黒川」の広報協力(チラシやパンフの配架やHP掲載、パネル展示等)を行う。	○
里山の保全と活用 里地里山保全利活用専門部会	里山の体験・利活用	里1	竹を使ったワークショップの実施	目的: 竹林の整備の発生材活用と竹林管理の意識啓発を行う。 内容: 地元小学生とともに、竹林から竹を伐り出すところからはじめる竹を使ったワークショップ(竹あんどん等)を開催。	○
		里2	里山の保全活動体験イベントの実施	目的: 体験を通じた、新たな保全活動の担い手の発掘。 内容: 黒川周辺の団体などに呼びかけを行い、多様な連携を図りながら里山保全活動体験を実施する。	○

### 2. 平成31年度以降の進め方

平成31年度に作成した「実施計画」に基づき実施していきますが、具体的な取り組みは、毎年の成果を踏まえ、毎年設定します。また、おおむね3年程度を目途に、必要に応じて基本計画の内容についても適宜修正します。

